

職員アンケートの結果について

千代田区基本構想懇談会 第2回全体会 資料

令和4年8月29日

目次

1. アンケート結果	P3
(1)めざすべき将来像について	P4
(2)分野別の将来像について	P5
(3)その他、全体に関することについて	P6

1 アンケート結果

1 アンケート結果

(1)「めざすべき将来像」について

- 「伝統と新たな時代の文化や価値観の調和」という趣旨は賛同できるが、「新たな時代における文化や価値観」を「モダン」という言葉で表すと、歴史的な印象を受ける。より先進性や進歩性を感じる言葉にすると、将来像の趣旨が伝わりやすくなると思う。
- 「モダン」もっと身近な言葉に変えた方がよい。
- 「彩りあふれ」の「彩り」がイメージしにくい。
- 『彩り「あふれ」、将来にわたって希望に満ちた魅力「あふれる」』とあるが、あふれが2度使われているので、例えば「魅力的な」とか「魅力ある」などに変えた方がよいのではないか。
- コロナ禍により希望が見えなくなっていることから、「将来にわたって希望満ちた 魅力あふれるまち」の文言は、必要な文言だと思う。
- 「区」としてのめざすべき将来像に関する説明だとすると、2段落1行目の主語は「私たち」ではなく「区（あるいは私）」とする方がよいのではないか。
- 解釈の幅が大きいと感じる。また、「現代」という意味で捉えたとき、「新たな時代や価値観」まで踏み込めていないのではないか。
- めざすべき将来像はとても共感できた。
- 「千代田区は、約400年にわたり、政治・経済文化の中心として歴史を刻み、発展してきました。」の表現では、区がはじめてから（400年前から）存在していたように見受けられる。

1 アンケート結果

(2)「分野別の将来像」について

集い、つながり、活気とにぎわいのあるまち

- 働く人・学ぶ人(昼間人口)及び来訪者に対する記載、並びに千代田の歴史をどうしていくかという記載がほとんどないと感じた。分野別の将来像「集い～」にそのような記載があるとよいのではないか。(例:あらゆる目的を持った人々が互いに集い、交流し、歴史や文化を共有することができます。など)

やすらぎを感じ、安心して快適に暮らせるまち

- 「良好な環境」は何を指すか、2行下の「住環境」との差が何か分かりづらい。
- 「良好な環境」という表現が曖昧で、何を指しているのか分かりづらい。
- 「人々の誇り」は「住環境」というより「伝統」に関わるものである気がする。
- 「良好な環境」とあるが、「美しく良好な環境」とすると、分野別の将来像の説明文にある「まち並みを活かしながら」という部分も関係づけることができるのではないか。
- 「近代」は、「現代」の前を意味する場合があります、「近代的なまち並み」のイメージが人によって異なってしまう可能性がある。

1 アンケート結果

(3)その他、全体について

- 分野別の将来像に、自然との共生や千代田区外とのつながりについての記載がもう少し具体的にあって良いと思う。
- 全体として普遍的な観点から書かれているものだと思うが、千代田区が都心の中の中心であり多くの人が集まるという多様性と代表性、先進性といった視点がもう少しあってよいと感じた。
- デザイン的な話だが、各将来像の文字のとは網掛けの色は別にした方が見やすい。
- ・箇条書き部分（めざすべき姿）が文中で唐突に出てくるような印象を受けた。何らかの小見出しがあった方がわかりやすい。（例えば、【個別の将来像】など）
- めざすべき将来像には歴史的な都市であることが示されているが、分野別の将来像には文化や伝統、歴史などの観点が示されておらず、全体感としてしっくりこない。実際に区が取り組んでいる文化や歴史に関わる取り組みをしっかりとカバーできるようなニュアンスを入れてほしい。
- 「スポーツに親しむ」や「文化芸術」は、分野別の将来像「自分らしく～」ではなく、「集い、つながり」に入れてもいいのではないかな。
- 分野別の将来像の3本柱はとても良いと思った。区と区民+企業・団体が、しっかりと実現に向けて共に歩みを進めて行ける構想のたたき台となっていると思った。